



いいね! : fujisawa.yasuhiko, 他5人  
 ikusaka\_tattoko ·  
 先月、1月25日にはやまなみ荘大ホールにて\いくぜ/いくさか未来スクール2024が開催されました。

第1回目の村民説明会でいただいた要望の中に、村民大集会を開催すれば良いという意見がありました。

そのアイデアを座長を務めていただいた加藤茂夫さんにご相談したところ、壇上から講演を行うスタイルではない、参加者全員が輪になって、平等に発言できる「車座集會」をやるう!と今回の会が開催されました。

令和6年度も生坂村では村民のみなさんと対話を重ね、ゼロカーボン社会への理解を深めてまいります。

会場：やまなみ荘大ホール  
 司会進行：  
 信州大学 文化情報論・社会学 准教授  
 茅野恒秀氏

ゲスト：  
 公益財団法人 自然エネルギー財団  
 加藤茂夫氏

#いくさか便り  
 #龍と子  
 #どうずらいくさか

NEWS インスタ始めました!

Instagram



WEB



生坂村公式ウェブサイトの公開とSNSの運用が始まりました。ぜひ、インスタグラムをフォローしてください!

## INTERVIEW

### 「親と子(佐久間家)」

#### Q1. 生坂村のどこが好き?

高津屋森林公園から眺める大城、京ヶ倉の雄大な景色が好きです。その麓で営む私たちの小さな暮らしと、友人やご近所さんとの温かい繋がりに幸せを感じています。

#### Q2. 親から子へ、この村で未来に残したいものなどありますか?

神社の御神事や三九郎など、日本人の自然観や伝統文化がここ生坂村にも残っています。自然への畏敬の念を抱き、感謝をささげる清らかな日本人らしい精神を子へ繋げていきたいです。

#### Q3. 本事業に期待していることは?

生物の多様性や生坂らしい豊かな自然景観に配慮して、安全に進めて頂きたいです。そして、将来世代となる生坂の子どもたちにも、この事業の概要や、気候変動のメカニズムや影響、脱炭素の必要性など学んだり、ディスカッションをする場を継続して設けて頂きたいです!生坂っ子の貴重な学びの機会になると思うのです。また、土砂災害の発生を食い止めたり、温暖化の防止、生物の多様性を守るためにも、人と自然のふれあいの場として森林空間の保全・創出・管理や林業の再構築について、未来を生きる子どもたちのためにも、期待しております。

### EDITOR'S NOTE

#### 編集後記

龍と子では生坂村に住むご家族の記念写真を掲載しています。ご家族の記念撮影に、いかがですか?おじいちゃん、おばあちゃんとお孫さんでも、ご家族であれば年齢や人数は問いません。ゼロカーボン事務局までお声がけください。

星野 亜紀子

(いくさかゼロカーボン事務局)

[発行元]生坂村 [編集]いくさかゼロカーボン事務局  
 [電話]050-3354-7715 [メール]info@green-ikusaka.org  
 [住所]生坂村5471-8(旧窪田商店) [平日]9:00~17:00



### TOPICS

- 生坂村で使えるエコな補助金について
- 事業進捗
- Instagram 未来スクール2024
- Interview 親と子



FEATURE

## 生坂村で使えるエコな補助金について

生坂村では住民課生活環境係が推進する「地球温暖化防止対策設備設置費補助金」があり、再生可能エネルギーの有効活用を目的に、太陽光発電システム及び太陽熱利用システム(太陽熱温水器)等の設置経費に補助を行っておりますが、令和6年度から令和10年度までは補助率の高い「環境省 脱炭素先行地域づくり事業の省エネ機器導入補助」へと移行します。本補助メニューでは他に

も調光機能付き LED照明機器やエコジョーズ・エコキュート等の高効率給湯器、高効率空調機器、薪ストーブやペレットストーブの導入補助も含まれるため、その詳細や応募要項は4月以降に村づくり推進室よりお示しいたします。

今日は生坂村ですすでに取り組みしておりかつ並行してご利用いただけるエコな補助金のご紹介をいたします。

### 生ゴミ処理機・コンポストの購入補助

生ごみの約80%は水分といわれており、焼却するにはより多くの燃料が必要になるほか、CO2の排出量も増えます。生ゴミ処理機やコンポストを利用して生ゴミの量を減らせば、二酸化炭素の排出を抑えることができ、カーボンニュートラルに寄与します。



生ゴミ処理機とは、家庭の生ゴミを自宅で処理して量を減らしてくれる機械です。微生物や熱風の力でゴミを分解して、カサを少なくしてくれます。生ゴミ処理機の種類は、処理方法によって大きく2種類に分かれます。

#### 微生物式

バイオチップなどと生ゴミを混ぜて、微生物の力で生ゴミを分解します。

#### 乾燥式

熱風によって生ゴミの水分を蒸発させ、カラカラに分解して処理します。

補助率

購入費用の

1/2

上限:3万円まで

### コンポスト



コンポストとは、家庭から出る野菜くずなどの生ごみや葉、紙などの有機物を、微生物の働きにより発酵・分解して堆肥を作ることを言います。堆肥になるまで時間もかかりますが、電気代はかかりません。

補助率

購入費用の

1/2

上限:5千円まで

### 住宅用の雨水貯水タンク設置補助金



能登半島地震では、断水時の水の確保の重要性が浮き彫りになりました。雨水貯水タンクをご自宅に設置することで、災害時の備蓄を行うことが可能となります。

補助率

購入費用の

1/2以内

100ℓ以上  
500ℓ未満  
限度額:2.5万円  
500ℓ以上  
限度額:5万円

他にも、屋根の修繕が必要な個人住宅には、村で推進している「住宅リフォーム等補助金」が利用できます。また、昭和56年5月以前に建てられた木造個人住宅は、「耐震診断(無料)」や「耐震改修補助金」も活用できます。ご興味あるご家庭は、振興課建設係までお問い合わせください。

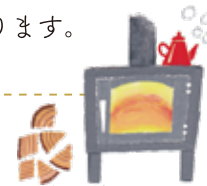


PROGRESS

## 脱炭素先行地域事業の現在の進捗状況

(令和6年2月20日現在)

村で行う各事業の調査、設計等は、「株式会社エコロミ」により、進めております。



### マイクログリッド事業

マイクログリッド事業では、接続を予定する施設等の冬季の電気使用状況の調査を2月から3月にかけて進めています。引き続き、事業計画や設計について作業を行っていきます。



### EV化の推進・EVシェアリング

公用車のEV化については、株式会社エコロミの下請け業者である、東京の株式会社REXEVにより、2月下旬を目処に公用車の配置やEVシェアリング導入計画について提案をいただく予定としています。

### 古民家脱炭素リノベーション

活用が可能と見込まれる空き家の候補物件をもとに、関係者と調整を行い、事業設計に向けて、手法や内容を検討していきます。

### 生坂ダムの小水力発電

生坂ダムの小水力発電では、株式会社エコロミの下請け業者である株式会社波多野調査設計により基本設計について、いくつかのパターンを提示いただきました。内容を基に村に合った発電手法の検討や関係機関との協議を引き続き、進めていきます。



### 事務局運営サポート業務

事務局運営サポート業務は、「合同会社ヒツタイショ」が、現在、上生坂の旧窪田商店を事務所として、脱炭素事業に関する問い合わせ窓口として、電話、メール、訪問対応をしています。情報発信では、「いくさか便利 龍と子通信」として、毎月25日の全戸配布による配布物や開設したサイトにて情報掲載を進めていきます。1月29日より、各地区で開催しています今年度、2回目の脱炭素事業に関する村民説明会の内容についても、情報を掲載していきます。

### 木質バイオマスの活用

木質バイオマスの活用に向けた山林調査については、1月29日に開催された生坂村ゼロカーボン推進プロジェクト会議において、株式会社エコロミの下請け業者である合同会社ラーチアンドパインによる調査の中間報告をいただきました。報告では、村内の山林の状況や伐採が可能と見込まれる地域、また今後の推進に関する提案のほか、人材確保等といった課題となる事項等について提示いただきました。引き続き、内容を基に、村の山林整備の方針や林業構築に向けた検討を進めていきます。



### オンサイト、オフサイトのPPA事業

オンサイトPPAは、「株式会社いくさかてらす」の受注業者である平林建設株式会社が、個別訪問により、村内の設置調査を進めています。また、オフサイトPPAについては、区の意向による所有者の希望調査や11月の調整会議で提案いただいた候補地の調査を進めています。調査結果に応じて、野立ての太陽光パネルの候補地を今後、地区にお示しして協議していきます。